

令和3年度 事業報告書

自 令和3年4月 1日

至 令和4年3月31日

I. 青少年活動

1. 子ども自然体験活動

※キャンプ事業の開催に向けて準備を進めたが、新型コロナウイルスの影響により中止

(1) 夏期子ども自然体験キャンプ

ア. 「子ども自然体験キャンプ」《文部科学省後援/子どもゆめ基金助成活動》

期 間 8月 <各3泊4日>

開 催 数 5会場 (道南、桧原湖畔、瀬戸内海、鹿児島、沖縄)

イ. 伊勢青少年研修センター主催「子ども自然体験キャンプ」

期 間 8月 <各3泊4日>

開 催 数 2会場 (愛知、関西)

ウ. 連合会等組織共催「子ども自然体験キャンプ」

期 間 8月 <各3泊4日>

開 催 数 3会場 (いばらき、友愛、北部九州)

エ. キャンプ事前調査《子どもゆめ基金助成活動》

オ. 共催キャンプへの講師・スタッフ等派遣

カ. 印刷物の作成・配布

①子ども自然体験キャンプリーフレット

②子ども自然体験キャンプ報告書

(2) 子どもわくわく自然体験キャンプ(招待)《子どもゆめ基金助成活動/文部科学省後援》

開 催 日 8月9日(月・振)～11日(日) <2泊3日>

開 催 地 ばんだいふれあいびあ

※新型コロナウイルスの影響により中止

(3) 冬期子ども自然体験キャンプ

ア. 子ども自然体験スキーキャンプ

コロナ感染症対策を講じ、参加者の定員を減らして2年ぶりに開催した。

《第1回》

開 催 日 12月26日(日)～30日(木) <4泊5日>

開 催 地 福島県(ばんだいふれあいびあ及び裏磐梯スキー場)

指 導 者 高橋 源一郎(SAJスキー指導員)

炊 事 員 小長谷 貴子、近藤 節子

スタッフ 板倉 和也、谷野 渉、増田航介、鈴木 綾

参加者数 39名 <ボランティア3名、リーダー11名、キャンパー25名>

※スキーキャンプリーダー研修会

開 催 日 12月24日(金)～26日(日) <2泊3日>

スタッフ 板倉 和也、谷野 渉

参加者数 11名

《第2回》

開催日 3月26日(土)～30日(水)〈4泊5日〉
開催地 福島県(ばんだいふれあいびあ及び裏磐梯スキー場)
指導者 高橋 源一郎(SAJスキー指導員)
炊事員 小長谷 貴子、近藤 節子
スタッフ 板倉 和也、谷野 渉、増田 航介、
参加者数 33名〈ボランティア1名、リーダー11名、キャンパー21名〉

※スキーキャンプリーダー研修会

開催日 3月24日(木)～26日(土)〈2泊3日〉
スタッフ 板倉 和也、増田 航介
参加者数 10名

(4) 子どもWAKU×2ひろば《子どもゆめ基金助成活動》 〈別表-1〉

自然体験活動や社会奉仕体験活動を実践している高校生・大学生等の青年指導者が集い、専門家や実践者を講師に招き、さまざまな体験活動やその展開方法についての学習をするとともに、新たな視点に立って展開する週末体験活動を模索し実践活動をおこなった。

ア. WAKU×2ボランティアリーダー研修会

開催数 5会場 〈各1日～1泊2日間〉
指導者等 11名
参加者 76名

イ. 子どもWAKU×2ひろば

開催数 4会場 〈各1日～1泊2日間〉
指導者等 41名(講師7名、リーダー34名)
参加者 82名

(5) 夏期少年少女合宿講習会(各地青年会議所等共催) 会場: 伊勢青少年研修センター

期 日	共催団体名・事業名	参加者数
7月21日(水)～23日(金)	寺子屋伊勢合宿	※
7月26日(月)～28日(水)	一般社団法人伊勢青年会議所 「第50回伊勢少年少女合宿講習会」	※
7月30日(金)～8月1日(日)	一般社団法人岸和田青年会議所 「第30回岸和田少年少女サマースクール」	45名
8月23日(月)～26日(木)	檀原ジュニアサマースクール	※
合 計	1回	45名

※新型コロナウイルスの影響により3回が中止

(6) 第22回40kmナイトウォーク親子の集い

開催日 9月11日(土)～12日(日)〈2日〉
対 象 小学3年生以上の子どもと大人

※新型コロナウイルスの影響により中止

2. 子どもボランティア推進活動

(1) 幸せの種まきキャンペーン《文部科学省後援》

地域・学校（生徒会・ボランティア部）、PTA等と連携を図り、これまで実践しているフィリピン等での支援活動を紹介した。ストリートチルドレンやスカベンジャーなど「貧困と共に生きる子どもたち」の現状を理解することにより、ボランティア精神を涵養し、他者への思いやり、命の大切さ、親や周りの人への感謝など、青少年の豊かな心を育むことを目的に開催した。

ア. 幸せの種まきキャンペーン「出前講座・課外授業」

〈別表-2〉

開催数 12会場
派遣講師 各会場に2名（山口千恵子、谷野渉、増田航介）
参加者 2,503名

イ. パンフレットの作成・配布

部数 5,000部
体裁 A4版8頁、4色刷
配布先 10,000ヶ所

(2) 被災地訪問青少年ふれあいボランティア《文部科学省後援/子どもゆめ基金助成活動》

期間 5月～令和4年3月 <各2泊3日>

活動場所 宮城県内の復興住宅

※2回の開催を予定していたが、新型コロナウイルスの影響により中止

(3) 青年ボランティアゼミナール《子どもゆめ基金助成活動》

〈別表-3〉

コロナ感染対策のためオンライン開催に変えて実施した。

期間 9月～令和4年3月 <各回とも19:30～21:00>

開催数 8回

会場 オンライン開催（Zoom）

講師 8名

出席者 175名

3. SYD指導者の養成

(1) 全国青年ボランティア・アクション in 福島《文部科学省後援/子どもゆめ基金助成活動》

開催日 令和4年3月31日(木)～4月5日(火) <5泊6日>

会場 ばんだいふれあいぴあ、喜多方市、会津若松市、被災地復興住宅ほか

※新型コロナウイルスの影響により中止

(2) 全国青年アカデミーキャンプ《文部科学省後援/子どもゆめ基金助成活動》

期日 第1回 5月 1日(土)～ 4日(火) <3泊4日>

第2回 9月18日(土)～20日(祝・月) <2泊3日>

会場 国立高遠青少年交流の家(長野県)

ばんだいふれあいぴあ(福島県)

※新型コロナウイルスの影響により中止

※指導者養成事業報告書の作成

※新型コロナウイルスの影響により事業を中止したため作成せず

(3) SYD 指導者資格認定制度

※新型コロナウイルスの影響により、ほとんどの事業が行えなかったため、制度の運用を図ることができなかった

4. 青年組織育成活動

※新型コロナウイルスの影響により、例年ばんだいふれあいぴあで開催しているキャンプ担当者会議をオンライン開催とした

(1) 青少年活動（キャンプ）担当者オンライン会議

期 日	第1回	4月11日(日)	13時～14時
	第2回	5月9日(日)	13時～14時
	第3回	3月12日(土)	20時～22時
会 場	オンライン開催 (Zoom)		
スタッフ	山口千恵子、市島寿里、板倉和也、谷野渉、増田航介 他		
参加者	各会12名(各地キャンプ担当者)		

(2) 指導者の派遣と青年組織活動への助成

※新型コロナウイルスの影響により事業を開催できなかったため、指導者の派遣、組織活動への助成はなかった

5. 関係機関・団体との協力

〈別表-4〉

青少年の健全育成ならびに社会教育に寄与する活動の充実を図り、青少年教育及び社会教育の関係機関・諸団体との協力・連携を図ることを目的に、会議出席などの活動を行った。

II. 国際交流活動

1. 貧困と共に生きる子どもたちの支援活動（サポーティングプログラム）

※新型コロナウイルスの影響により（1）は中止、それに伴い（2）（3）も中止

(1) 青年ボランティア・アクションinフィリピン 《文部科学省後援》

期 日	8月20日(金)～26日(木)	<6泊7日>
訪問地	フィリピン(マニラ市、ケソン市、他)	

(2) 「青年ボランティア・アクションinフィリピン」報告書の作成・配布

(3) 「青年ボランティア・アクションinフィリピン」支援バックの作成作業

2. ブラジルとの指導者交流事業

※新型コロナウイルスの影響により（1）、（2）中止

(1) ブラジル指導者の招聘

ア. ブラジル青年リーダーの招聘

期 日	8月上旬～9月上旬	<28日間>
主な日程	本部研修、伊勢研修、ばんだいふれあいぴあ研修、都内視察ほか	

イ. ブラジル修養団講師の招聘

期 日	令和4年2月上旬～下旬	<21日間>
主な日程	本部研修、伊勢研修、ばんだいふれあいぴあ研修、都内視察ほか	

(2) ブラジルへの指導者派遣

期 日 令和4年1月上旬～2月中旬 <約40日間>
派遣先 ブラジル (サンパウロ、モジ、スザノ、マリングア他)
主な活動 少年少女講習会、リーダー研修会、講演会等

公益2

Ⅲ. 講習会・講演活動

1. 伊勢講習会 会場：伊勢青少年研修センター

(1) みがく講習会 (定例講習会)

〈別表-5〉

開催数 2回 <各3泊4日>

参加者 58名

対 象 企業の新入社員・中堅社員・幹部社員他

※9回予定していたが新型コロナウイルスの影響により7回中止

(2) みがく特別講習会

〈別表-5〉

開催数 6回 <各1泊2日>

参加者 146名 (平均29名、定員各80名)

※昨年度中止になったため、5月に1回開催を追加した

(3) 特別講習会

ア. 神嘗祭講習会

期 日 A：初穂曳コース：10月15日(金)～17日(日) <2泊3日>

B：神嘗祭コース：10月16日(土)～17日(日) <1泊2日>

参加者 A：62名 B：4名 計66名

対 象 一般社会人

※初穂曳、夜間奉拝は神宮の都合により中止となった

イ. 初詣新春の集い

期 日 令和4年1月8日(土)～9日(日) <1泊2日>

※新型コロナウイルスの影響により中止

(4) 受託講習会

〈別表-6〉

開催数 11回

参加者 382名

※他に2回の予定があったが、新型コロナウイルスの影響により中止

(5) 一般講習会

〈別表-6〉

開催数 6回

参加者 141名

※他に2回の予定があったが、新型コロナウイルスの影響により中止

(6) 講師派遣 (講演・講習活動)

〈別表-7〉

開催数 37回

参加者 2,295名

2. 関東・東北地区等講習会

※新型コロナウイルスの影響により(1)(2)ともに中止

(1) 新入社員セミナー

期 日 4月13日(火)～15日(木) <2泊3日>
会 場 猪苗代観光ホテル(福島県)

(2) リフレッシュセミナー

期 日 令和4年2月2日(水)～4日(金) <2泊3日>
会 場 みなとや(福島県)

3. 受託セミナー

〈別表-8〉

(1) パート社員セミナー

ア. 1日コース
開催数 3回(他2回中止)
参加者 254名

(2) 新入社員セミナー

ア. 1泊2日コース
※2回開催予定だったが、新型コロナウイルスの影響により中止

イ. 2泊3日コース
開催数 1回(他1回中止)
参加者 18名

(3) 一般社員セミナー等

ア. 1日コース
※1回開催予定だったが、新型コロナウイルスの影響により中止

(4) 講演会

開催数 2回
参加者 80名

4. 企業・組織訪問

講演会・講習会の参加者募集や実施及び団運動の拡大を目的として企業・組織を訪問した。

期 日	訪問地域	訪問社数	訪問者
11月26日(金)	福島県いわき市(株マルト)	1社	根岸・保坂
12月2日(木)	福島県郡山市(佐藤株)	1社	根岸・志村
合 計	2回	2社	

【集計表】連合会・クラブ、企業・団体等「主催講習会・講演会」〈別表-9〉

(1) 講習会

開催数 24回
参加者 1,044名

(2) 講演会

開催数 36回
参加者 2,157名

IV. 家庭教育活動

1. 家庭《共育》ひろば

親子や家族のあり方、高齢社会での世代間交流など、身近な課題に取り組むとともに、楽しい子育て、幸せな家庭、生き生きとした地域社会の実現に向けた講座・ワークショップを企画した。

本年度は新型コロナウイルス感染が続く中、Z o o mを活用したオンライン講座を実施し、参加者を広く募集し、修養団活動、特に家庭教育活動の拡大を図った。

(1) 家庭《共育》ひろば(会場使用型)

※5会場の開催を計画したが、新型コロナウイルスの影響により中止

(2) 「Z o o mでオンライン家庭《共育》ひろば講演会」《新規》

開催日	講師	演題	参加者数
5月15日(土)	久世 愛里 (人形劇団京芸)	「つくろう!動かそう! 人形あそび」	46名
7月 3日(土)	木下 茂美 (整理収納アドバイザー)	「家族で楽しい整理 ～お部屋スッキリは、こころスッキリ～」	51名
9月11日(土)	原坂 一郎 (KANSAI 子ども研究所)	「笑顔いっぱいの子育て ～小さな喜びに気づくヒント～」	32名
12月16日(土)	毛利 杏奈 (女優)	「親も子どもも友だちも ノリノリダンシング!」	46名
4回			175名

V. 会員・組織活動

1. 「幸せの種まき運動」の推進

会員及び会員組織と連携を図るとともに、諸団体にも呼びかけ、「愛と汗」を基本に下記事業を展開し、心ひとつにして「幸せの種まき運動」の推進を図った。

(1) “愛と汗” 幸せの種まきセミナー ※会場参加型

“愛と汗”を基本とした修養団の理念を学ぶとともに、「幸せの種まき」を実践するための意識を高める機会として、連合会・クラブ等を実施団体とした研修会を計画した。新型コロナウイルス感染への懸念もあり1会場での開催にとどまったが、初めて修養団教育を導入した企業に対し研修をおこなった。

開催日	実施企業(主催団体)	参加者数	講師
7月31日(土)	(株)土田建築設計事務所 (修養団福島県連合会)	10名	根岸 志村
1回		10名	

(2) Z o o mでオンライン“愛と汗” 幸せの種まき講演会《新規》

今年度は修養団本部の講師が自らの体験を基にした講演をおこなった。終了後は「みんな育てる講演会」を目指し、参加者各位と講師がともに近況報告や情報交換、今後の希望などを共有し合う場を設定した。

開催日	講師	演題	参加者数
1月16日(日)	志村 和也 (講師・社会教育部主任)	「汗して愛を知る」 ～人生を変えた経験～	36名
2月 6日(日)	板倉 和也 (講師補・青年部)	「二度とない人生だから」	35名
3月13日(日)	保坂 正志 (講師・社会教育部部長)	「生きる役割」	27名
3回			98名

(3) 第13回「チャリティー演芸会」～秋の夜に笑おう!の巻～

ーストリートチルドレン支援ー

新型コロナウイルスの影響下にありながらも、当日は50名を超える来場をいただき、会場はマスクの中での大爆笑が沸き起こった。

また昨年同様、会場への参加を見送った方に「心の参加者」として広く募金のご協力を呼びかけたところ、14件・158,800円の献金が寄せられた。

期 日 10月29日(金) 18時30分～20時20分

会 場 SYDホール

出演者 立川志獅丸、立川らく次、春風亭びっかり☆、林家彦三

来場者 51名

係 員 12名(職員・ボランティア)

※収益金94,415円を「幸せの種まき献金」へ繰り入れた。

(4) 「幸せの種まき祭り」ーストリートチルドレン・災害被災者支援ー

昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染予防の対策を講じながら「チャリティーバザー」のみ実施した。全国の联合会・クラブ、企業等から提供された特産品や衣類のほか、北海道や埼玉県の会員からご提供いただいた野菜などを販売した。

期 日 11月13日(土) 12時～14時

会 場 SYDビル玄関前広場、2階ホール

参加者 200名(近隣住民および会員など)

※収益金296,017円を「幸せの種まき献金」へ繰り入れた。

(5) 第5回「東京ベルズ」ハッピーヴォイスチャリティーコンサート

ーストリートチルドレン支援ー

NPO法人「東京ベルズ」のメンバーによるチャリティーコンサートを実施。クリスマスソングや世界の歌のほか、飛沫防止に配慮した「歌わない歌・ハミング」も披露された。また、会場では収容人数の制限、開演時間の短縮など、感染予防の対策を講じながら進行。

プログラム中には特別企画として、SYDが実施しているフィリピンの支援活動と現状を、映像を交えて報告した。

昨年同様、会場への参加を見送った方に「心の参加者」として広く募金のご協力を呼びかけたところ、40名から128,000円の献金が寄せられた。

後日、ご寄付をいただいた方に対して、当日の動画を配信した。

期 日 12月4日(土) 13時～15時

会 場 SYDホール

来場者 77名

出演者 高牧康、御幸りか、花岡るみ、古谷万理子、白瀬恵、松本久志、古葉映、ラジアン円
(伴奏・アンサンブル) 江尻弘子、石川武、鶉飼ひろみ
※収益金 641,632円を「幸せの種まき献金」へ繰り入れた。

2. 会員組織活動への支援など

(1) 第10回「全国修養団運動推進会議」

期 日 6月5日(土) 13時～15時45分
会 場 SYDホール
出席者 54名(会場出席6名・オンライン出席27名・役職員21名)
内容等 安仁屋聡理事(琉球放送(株)常務取締役)が「SDGs時代にSYDの果たす役割」と題し基調講演。また、福田達男SYDいばらき代表が、SYDいばらき共催で実施された「ファミリーキャンプ」について、新型コロナウイルス対策を中心に事例報告をおこなった。

(2) 講師・役職員の派遣

6月26日 修養団愛汗郡山「第16回定例総会・理事会」
4名(郡山市・ベルヴィ郡山館) 【保坂】
7月13日 修養団福島県連合会「令和3年度理事会・通常総会」
24名(郡山市・(株)ヨークベニマル本社) 【山崎、保坂、志村】

- ・以下、新型コロナウイルスにより変更(中止・延期など)された連合会・クラブ総会
修養団愛汗喜多方「令和3年度理事会・総会」6/11実施
修養団山都愛汗の会「令和3年度定期総会」書面総会
修養団神奈川県連合会「第40回定期総会」書面総会
修養団日立システムズ五十鈴会「第33回定期総会」中止
修養団鹿児島県連合会「令和3年度総会」書面総会

(3) 皇居勤労奉仕団(実施:伊勢青少年研修センター)

※新型コロナウイルスの影響により、宮内庁より奉仕団受入中止の連絡があったため中止

(4) 活動助成金の支出

クラブ・連合会の活動の拡充と活性化を図ることを目的とし、修養団のクラブ・連合会がおこなう活動に助成金各3万円を交付した。

1. 修養団伊勢いなほの会「ガラスアートを楽しもう」
(7月25日開催の同会総会後の学習活動・参加者20名)
2. SYDいばらき「ユースリーダーズキャンプ」
(11月5日～7日開催・参加者9名)

3. 会員状況と会員組織

諸事業において、見本誌を配布した。また、「日々の力」や図書を発送する際に見本誌を同封するなど、会員拡大を図るとともに、クラブ・連合会を通じて加入促進をお願いした。新型コロナウイルスの影響もあったが、講習会受講者からも会員継続の申し込みをいただくなど、明るい傾向も見られた。

(1) 会員の現状

〈別表-10〉

会員種別	当年度(R4. 3. 31現在)	前年度(R3. 3. 31現在)	増減
ふれあい会員	13	20	△7
愛会員	325	282	43
向上会員	910	786	124
永生会員	10,728	10,728	0
合計	11,976	11,816	160

(2) 後援会会員の現状

会員種別	当年度(R4. 3. 31現在)	前年度(R3. 3. 31現在)	増減
法人会員	96	97	△1
個人会員	132	135	△3
合計	228	232	△4

VI. 幸せの種まき献金活動

1. 募金活動

会員組織、会員及び「幸せの種まきキャンペーン《出前講座》」実施校などを通じて募金活動をおこなった。

(単位：円)

		3年4月	5月	6月	7月	8月	9月
月計金額		77,592	133,504	217,591	799,107	164,525	417,430
《一般献金》		30,592	96,194	111,591	667,107	74,525	61,430
《指定献金》		47,000	37,310	106,000	132,000	90,000	356,000
指定 献金 内訳	東日本大震災被災者支援	0	0	0	0	10,000	0
	ファイリピン 子ども学資支援	18,000	0	72,000	54,000	54,000	72,000
	大学生学資支援	0	0	0	64,000	0	270,000
	学校支援	29,000	37,310	34,000	14,000	26,000	14,000

		10月	11月	12月	4年1月	2月	3月
月計金額		208,266	765,694	1,849,106	296,820	66,313	177,501
《一般献金》		54,266	715,231	852,520	102,820	52,313	121,001
《指定献金》		154,000	50,463	996,586	194,000	14,000	56,500
指定 献金 内訳	東日本大震災被災者支援	0	0	0	0	0	0
	ファイリピン 子ども学資支援	18,000	0	270,000	144,000	0	18,000
	大学生学資支援	90,000	0	46,500	36,000	0	0
	学校支援	46,000	50,463	680,086	14,000	14,000	38,500

		今年度合計	前年度合計
年間合計金額		5,173,449 (244 件)	4,313,350 (219 件)
《一般献金》		2,939,590 (159 件)	
《指定献金》		2,233,859 (85 件)	
指定献金内訳	東日本大震災被災者支援	10,000 (1 件)	
	フィリピン 子ども学資支援	720,000 (37 件)	
	大学生学資支援	506,500 (12 件)	
	学校支援	997,359 (35 件)	

※心の参加者（一般献金）…チャリティー演芸会 158,800 円（14 件）
 // …東京ベルズコンサート 128,000 円（40 件）

2. 支援活動

海外のストリートチルドレン支援として、フィリピンの子ども 41 名と大学生 5 名の学資支援及び子どもたちが学ぶ学校への支援をした。また新型コロナウイルスにより健康状態が悪化しているフィリピンのゴミ山の子どもたちへ給食支援等を行った。

〈ストリートチルドレン支援〉 (※ = 全て指定献金 / ** = 一部指定献金)

- ・フィリピン： ストリートチルドレン(給食支援) 560,000 円**
- ・フィリピン： 子ども(幼稚園～高校生)学資支援(スカベンジャー・41 名) 738,000 円※
- ・フィリピン： 大学生学資支援(スカベンジャー・5 名) 900,000 円**
- ・フィリピン： 「パンガラップ・ラーニング・スクール」
(学校運営支援・12万円×12ヵ月) 1,440,000 円**
- ・フィリピン： スカベンジャーの
子どもたちへのクリスマスプレゼント(チョコレート) 18,660 円**

〈福祉施設・団体支援〉

- ・福 島 県： 山都デイサービスセンター「しゃくなげホーム」 30,000 円

合 計 3,686,660 円

前年度合計 4,005,500 円

3. 幸せの種まき献金委員会

(1) 幸せの種まき献金委員会の開催

以下のように定期的に開催し、活動の充実・推進について協議した。

令和 3 年 4 月 14 日、5 月 11 日、6 月 8 日、7 月 5 日、8 月 4 日、9 月 2 日
 10 月 8 日、11 月 5 日、12 月 17 日
 令和 4 年 1 月 17 日、2 月 9 日、3 月 8 日

(2) 報告書の作成・配布

令和 2 年度活動報告書(1,000 部)を発行し、クラブ・連合会、募金して下さった方々などに送付した。

Ⅶ. 出版・広報活動

1. 機関誌「向上」「愛」の発行

(1) 「向上」

号	発行部数	随想テーマ
4月号	1,700	踏み出す勇気
5月号	1,700	感謝の心
6月号	1,900	楽しくなる発想
7月号	1,700	本気になる
8月号	1,700	縁の力
9月号	1,900	チャンスをつかむ
10月号	1,900	心にゆとり
11月号	1,900	力をもらった本
12月号	1,900	親からの大切な教え
1月号	2,100	新たな一歩
2月号	2,200	笑顔になる時間
3月号	1,800	友達っていいな
合計	22,400部	(前年度27,500部)

(2) 「愛」

号	発行部数	備考
4月号	800	
5月号	900	
6月号	1,100	
7月号	1,600	「ふれあい特集号」14部含む。 過去キャンプ参加者へも送付(約700部)
8月号	800	
9月号	900	
10月号	1,000	
11月号	1,700	「ふれあい特集号」14部含む。 過去キャンプ参加者へも送付(約700部)
12月号	1,000	
1月号	1,100	
2月号	1,300	
3月号	1,600	「ふれあい特集号」13部含む。 過去キャンプ参加者へも送付(約700部)
合計	13,800部	(前年度12,600部)

2. 令和4年版「日々の力」の制作・販売

(1) 制作

題名 「でっかい元気」

作者 〈絵と文字〉佐藤 和喜(書画家)

内 容 明るく元気な職場づくり、心温まる家庭づくりのために心がけたいこと、
 実行したいことを31日分の言葉にまとめ、絵を添えて制作した。
 体 裁 日めくり式短冊形・33枚、カラー刷り
 印刷部数 14,000部(宣伝用含む)
 第1回納品－7月29日、第2回納品－9月3日

(2) 販 売

ダイレクト・メールや「向上」誌等で会員や「日々の力」愛好者への普及に努めるとともに、会社・団体の年末年始贈答品としての利用を呼びかけた。

区 分	件 数	部 数
SYDオリジナル	97	2,379
無 地	37	419
注文名入れ印刷	48	8,170
合 計	182件	10,968部
前年度合計	188件	11,606部

※ 9月27日

修養団新潟県連合会の協力を得て新潟県下6社を販売促進活動で訪問【保坂】

3. 教育図書の普及、教材の販売

『蓮沼門三の言葉110』、『人生のことば365日』、『蓮沼門三物語』などの図書、研修教材の『人生ガイドー研心』などを普及・販売した。

4. 「SYDかわらばん〈最新活動情報〉」の発行・送付

SYD事業や会員組織活動の最新情報を届けることを目的に、毎月20日頃(8月を除く)に各1,000～1,100部(2頁～8頁)を発行し(NO.150～161)、クラブ・連合会・評議員等へ送付するとともに、事業参加者等に手渡し配布した。

また、その全記事をSYDホームページ「webかわらばん」で紹介した。

5. 広報活動

(1) ホームページの充実

SYD事業の予定や報告、参加者募集の呼びかけ、さらに、SYDの理解を深めてもらうための各種情報を発信した。ホームページから見ることのできる動画配信をスタートし「SYDボランティア奨励賞」受賞者発表及び活動報告を掲載した。(Youtube 動画)

公益4・収益1

VIII. 施設運営事業

1. 伊勢青少年研修センター

〈別表-11〉

(1) 利用状況

ア. 主催講習会 (クリスマス会を含む)

回 数 11回 (前年度4回)

利用者数 324名 (前年度108名)

イ. 受託講習会 (夏期少年少女合宿講習会を含む)

回 数 12回 (前年度5回)

利用者数 427名 (前年度276名)

ウ. 一般研修会

回数 6回 (前年度9回)

利用者数 141名 (前年度301名)

※ア+イ+ウ=29回、892名 (前年度17回、652名)

2. ばんだいふれあいびあ

(1) 利用状況

〈別表-12〉

利用回数 10回 (前年度27回)

利用者数 113名 (前年度592名)

延べ利用者数 455名 (前年度1,781名)

(2) 施設整備等 (新型コロナウイルス感染症対策)

利用者が安心して施設を使用できるように福島県の宿泊事業者向け感染防止対策の補助金の申請・交付を受け、アルコール噴霧器、空気清浄機、パーテーション等々を12月に購入し、設置した。(補助金額: 913,718円)

3. 修養団SYDビル

(1) SYDホールおよび会議室の貸出状況

※新型コロナウイルスの影響により、ホール利用22回、SYD会議室利用8回のキャンセルがあった

ア. SYDホール

回数 71回 (前年度43回)

利用者数 5,440名 (前年度2,330名)

イ. SYD会議室(16階)

回数 32回 (前年度21回)

利用者数 620名 (前年度390名)

(2) 施設の整備等

SYDホール利用者にリモート会議や配信等ができるよう、以下の整備等を行った。

- ・ホール、会議室ネットワーク構築工事【NURO光】(8月)
- ・ホールプロジェクト用ランプ、スポットライト用ハロゲン電球購入(6月)

4. 関西会館

- ・テナント(1階、2階部分)の適正管理をおこなった。

その他

IX. 関係機関・団体との協力活動

1. 「社会教育関係者懇親の集い」及び「文部科学省と語る会」

令和4年3月10日 オンラインにて「文部科学省と語る会」開催

X. 表彰

1. 第16回SYDボランティア奨励賞

(1) 募集活動

募集パンフレット18,000部を作成し、《出前講座》開催校、キャンプ開催地県の小学校、全国の中・高・大学へ送付すると共に、関連団体、全国の県・市教育委員会等へ広報依頼をしたところ、全国28都道府県とアメリカから合計52件の応募があった。

(2) 選考委員会の開催

新型コロナウイルスまん延防止等重点措置の期間中のため、感染防止の観点からオンライン開催とし、欠席の委員からは書面にて選考をお願いし、各賞の選考決定を行った。

開催日 12月13日(月) 14時～15時30分

会場 SYD会議室

出席者 リモート出席委員3名、内部選考委員2名(御手洗理事長、山崎主幹)
事務局2名(真下淳一、岩佐加寿子)

文部科学大臣賞 1点

唐津南高校 虹の松原プロジェクトチーム (佐賀県)

優秀賞 3点

【小・中学生の部】姫城中学校 姫ボラ (宮崎県)

【高校生の部】群馬県立大泉高等学校 植物バイオ研究部 (群馬県)

【大学・一般の部】東京家政大学ヒューマンライフ支援センター

地域小学校との食育連携プロジェクト (東京都)

特別賞 2点

山鹿市立鹿北中学校 生徒会 (熊本県)

熊野高等学校 Kumano サポーターズリーダー部 (和歌山県)

(3) 動画贈呈式

令和4年2月11日(金・祝)に予定していた贈呈式は、新型コロナウイルスまん延防止等重点措置の期間中となったため感染防止の観点から会場での贈呈式を中止し、動画を作成しSYDのHPで公開した。

公開日 令和4年2月11日(金・祝)

内容 ①主催者挨拶：御手洗理事長 ②祝辞：文部科学省総合教育政策局社会教育振興総括官 根本幸枝 ③選考経過報告：山崎主幹 ④受賞者挨拶・活動報告：6団体

2. 令和3年度功労者表彰

〈敬称略〉

【名誉団員】3名

漆原幸保(東京都)、多田勲(香川県)、【追贈】佐原元(福島県)

【蓮沼賞】3名

笠原則夫(埼玉県)、川崎幹彦(新潟県)、永山淑(香川県)

【表彰】個人：5名

【感謝状】個人：5名 団体：2団体

XI. 諸会議の開催等

1. 理事会

(1) **第1回理事会** ※新型コロナウイルスの影響によりリモート理事会とした。

期 日 5月18日(火)

出席者 理事：12名(内web出席5名)、監事：2名(内web出席2名)
山崎主幹

議 題 ア. 令和2年度事業報告について
イ. 令和2年度収支決算について
ウ. 令和3年度上期慰労手当の支給について
エ. その他
・評議員会、第10回修養団運動推進会議の開催について
・事業経過報告書(4~8月)の送付について

(2) **第2回理事会** ※新型コロナウイルスの影響によりリモート理事会とした。

期 日 12月22日(水)

出席者 理事：12名(内web出席：3名)、監事：1名(内web出席：1名)
山崎主幹

議 題 ア. 令和4年度基本方針・事業計画大綱について
イ. 令和4年度予算大綱について
ウ. その他
・令和3年度功労者表彰について

(3) **第3回理事会** ※新型コロナウイルスの影響によりリモート理事会とした。

期 日 令和4年3月23日(水)

出席者 理事：12名(内web出席：3名)、監事：1名(内web出席：1名)
山崎主幹

欠席者 理事：1名
議 題 ア. 令和4年度事業計画について
イ. 令和4年度収支予算について
ウ. 定時評議員会の招集について
エ. その他
・次回の理事会開催について

※事業経過報告書と収支月報の送付

10月4日付けで4~8月までの「事業経過報告書」と「収支月報」を理事・監事・評議員に送付した。

2. **第11回評議員会** ※新型コロナウイルスの影響によりリモート評議員会とした。

期 日 6月4日(金)

出席評議員 9名(内web出席4名)

議 題 ア. 令和2年度事業報告並びに収支決算について
イ. 令和3年度事業計画並びに収支予算について
ウ. 令和4年度事業計画への要望について
エ. 理事の選任について(職制変更に伴う交代)

3. 後援会役員会 ※新型コロナウイルスの影響により書面役員会とした。

期 日 6月18日(金)

同意者 7名(常任幹事:6名、監事:1名)

議 題 ア. 令和2年度後援会事業報告・収支決算及び監査報告について
イ. 令和3年度後援会事業計画(案)並びに収支予算(案)について
ウ. 令和2年度修養団主要事業報告及び令和3年度主催事業計画について

4. 弔事

(1) 物故団員・同志ご芳名

福島県	佐原 元 殿	5月 3日	修養団愛汗喜多方会長、佐原病院理事長
神奈川県	池田 邦彦 殿	7月21日	名誉団員、前修養団神奈川県連合会理事長
東京都	永島 公朗 殿	8月21日	修養団顧問会計士、元修養団監事、永島会計事務所代表
北海道	井上 武 殿	12月13日	修養団美幌会顧問
ブラジル	坂野 聖剛 殿	3月25日	修養団ブラジル連合会指導者

(2) 物故同志慰霊の集い

7月14日(水)、SYDビル会員ルームにおいて、物故された恩人・先輩・永生会員・同志の慰霊祭を山崎主幹はじめ本部役職員により執り行った。

5. SYD将来計画プロジェクト「令和」

令和元年9月1日に職員4名で構成、スタート。10年後、20年後の社会を予測した上での今後のSYDの在り方(運動展開等)について具体的な事項も合わせて示す提言を行うための準備をしている。

6. 講師研修会

〈別表-13〉

本団の教育理念および教育事業活動に関する研究・協議を行うとともに、講師相互の研鑽ならびに資質向上を図ることをねらいとしてオンライン(Zoom)研修会を実施した。

開催数 21回

7. 役職員の新型コロナ感染防止対策

出勤による感染リスクを減らすため、在宅勤務日及び休業日を設定すると共に、朝・夕(30分~1時間)の時短勤務を行った。特に8月下旬に本部内でコロナ感染者が数人出たため、8/22に事務所内の消毒作業を行い、8/23の週は全員在宅勤務とし、常勤役員が交代で出勤した。

4~8月:在宅勤務週2日、8/23~27は全員在宅勤務

9月:感染拡大に伴い在宅勤務週3日

10~12月:在宅勤務週2日

1~3月:在宅勤務週1日、2/11は休業とした。

8. その他

6月28日 在団理事会

6月29日 今年度の顧問会中止に伴い、顧問に挨拶状と事業報告書を送付

7月 5日 上期慰労手当支給(1.3か月分)

10月18日 在団理事会開催

12月 1日 下期慰労手当支給(1.7か月)

2月22日 在団理事会

2月22日 蓮沼門三初代主幹生誕140周年並びに創立116周年の式を役職員で行った。

令和3年度事業報告には「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和4年3月

公益財団法人 修 養 団

令和3年度 後援会活動報告

令和3年度の後援会活動は、コロナ禍のなか6月18日に書面役員会において決定された事業計画に基づき、募金目標額12,000,000円の達成をめざして7月中旬より活動を開始しました。コロナ禍による経済活動が落ち込む中においても、例年通り三菱グループ、三井グループ、住友グループ、日本製鉄、宇部興産、フジタ、キッコーマン、北越コーポレーション、東芝等々法人会員96社、個人会員132名の方々の深いご理解と温かいご支援により、10,380,000円の会費収入を得る事ができました。

なお、会費収入のうち経費を除いた金額10,084,794円を後援会の助成対象事業である「青少年の健全育成」「家庭教育の推進」「社会教育指導者の育成」の3事業支援のために修養団へ繰り入れさせていただきました。

令和3年度はまん延防止等重点措置が何度も延長された一年となり、修養団の諸事業は、昨年度に引き続き新型コロナウイルスの影響を受け、多くの事業は中止となりましたが、対策を講じ、参加者の安全を確保しながら幾つかの事業を再開することができました。また昨年に引き続きオンライン講演会等を実施し、日本全国そしてまた海外からの参加もあり、今まで修養団を知らなかった方にも「愛と汗」の精神を広げることができました。

ここに謹んで後援会役員をはじめ全国の法人会員、個人会員の皆様の貴いご支援、ご協力に対し、心より感謝を申し上げます。

1. 会員移動状況

(1) 新入会員 〈法人会員 1団体、個人会員 3名〉

(神奈川県) (有) 秋山木工

(東京都) 木下 茂美、永島 徳大 (岐阜県) 山本 哲也

(2) 退会会員 〈法人会員 1団体、個人会員 1名〉

(大阪府) イトペック (富山県) 八田 宏明

(3) 逝去会員 〈個人会員 3名〉

(東京都) 頼経 健治、永島 公朗 (岐阜県) 安江美津子

2. 募金活動

(1) 募金目標・募金実績 (単位・円)

〈募金目標〉

法人会費 10,000,000円

個人会費 2,000,000円

合計 12,000,000円

〈募金実績〉

法人会費 9,060,000円(96社)

個人会費 1,320,000円(132名)

合計 10,380,000円

(2) 募金方法

ア. 文書活動

6月18日の書面による後援会役員会で承諾された事業計画にもとづき、7月中旬より募金活動を開始。令和3年度会費納入のお願い書を法人、個人会員宛に発送した。

イ. 訪問活動

7月上旬に関東地区法人会員各社を訪問し、平素のご支援の御礼とご協力をお願いをした。

3. 広報活動

- (1) 修養団機関誌『向上』6月号に令和2年度の後援会会員名簿を掲載、協力の御礼と感謝の意を表すると共に令和3年度をお願いをした。
- (2) 『向上』(令和3年度5月号より1年間)及び令和4年版「日々の力」を法人、個人各会員に贈呈した。

4. 会 議

- (1) 役員会 (コロナ感染予防のため、書面役員会とした)

決 議 日 6月18日(火)

同 意 者 常任幹事：板垣和彦、平岡真一、弘中 聡、松崎 毅、守屋邦晴、柳井秀朗
監 事：新海一正

- 議 事
- ア. 令和2年度後援会事業報告並びに収支報告及び監査報告について
 - イ. 令和3年度後援会事業計画(案)及び収支予算(案)について
 - ウ. 令和2年度修養団主要事業報告並びに令和3年度修養団主要事業計画について

5. 収支報告 (4月1日～令和4年3月31日)

(単位：円)

貸 方 (支出)	科 目	借 方 (収入)	前年度 (収入)
	会費収入 (法人)	9,060,000 (96 社)	9,070,000 (97 社)
	〃 (個人)	1,320,000 (132 名)	1,350,000 (135 名)
10,084,794	修 養 団 後 援 金		
5,796	旅 費		
8,525	印 刷 費		
75,854	通 信 運 搬 費		
187,600	消 耗 品 費		
0	会 議 費		
17,431	雑 費		
10,380,000	合 計	10,380,000	10,420,000